

平成 21 年度 第 2 回子育て・環境・魅力づくり部会

□開催日時 平成 21 年 5 月 15 日（金） 午前 9 時 30 分～11 時 30 分

□会 場 日吉出張所 第 3 会議室

□参加委員

委 員：今井部会長、神谷副部会長、酒井委員、佐藤委員、庄司委員、菅野委員、
沼田委員、深瀬委員、松脇委員

事務局（企画課）：渡邊課長、蓬田課長補佐、高相課長補佐、小出主査、齊藤職員

□議 題 1 地域コミュニティ活動の推進について（加瀬山周辺散策など）

2 区民会議に向けた「子育て・環境・魅力づくり部会のまとめ」について

□開会

司会：渡邊課長

□開会あいさつ

- ・事務局が開会のあいさつをしました。
- ・会議公開について説明し、了解を得ました。

□議事

進行：今井部会長

1 地域コミュニティ活動の推進について（加瀬山周辺散策など）

- ・「夢見ヶ崎動物公園」柁園長の案内で、夢見ヶ崎動物公園一体を散策しました。
- ・散策後、日吉出張所に戻り、意見交換をしました。

（今井部会長） ありがとうございました。感想など一言ずつお願いします。

（松脇委員） 夢見ヶ崎動物園は、幼稚園や小学校が見に来ており活発ですし、動物園の園長さんも熱心でクオリティが高いと思いました。

（深瀬委員） 久しぶりに行って、今回初めて知ったことがあり、良かったです。

（沼田委員） JR の敷地にある坂道をうまく利用できるといいと話をしながら歩きました。そう
なると、向こうも発展します。

（菅野委員） 昭和 23、4 年頃に、渡田の川中から歩いて通いました。平成 13、4 年には、市
民館の地域セミナーで講師をしたので、加瀬山についてとりわけ縄文、弥生から鎌倉時代
までは詳しいです。何回も来ていますが、散歩をするには大変良いところだと思います。

（深瀬委員） 子どものころから加瀬山と言っていました。夢見ヶ崎とは言っていませんでした。
今の人は夢見ヶ崎でないとわかりません。

（菅野委員） 一帯の領主が加瀬一族でしたから、加瀬山と呼ばれていました。

（庄司委員） 昨年、日吉の「わっ」で子どもたちのスタンプラリーをして巡ってもらい、最後
にかき氷を出しました。子どもたちにもっと探検をしてほしいです。登り口が 5 つありま
すが全部上がったことがない子もいます。今日は、太陽光エネルギーの首振りを見て、も
っと PR すればいいと思いました。

（佐藤委員） 動物そのものではなく山の回りなどを見たかったです。私は瀋陽からレッサーパ

ンダを誘致するのに関わったので、関心があります。ここに上るのにどういう地形か、川崎市の敷地がどこかなどをもっと知りたかったです。資料があったらお願いします。

(酒井委員) 幼稚園、保育園の子どもたちがはしゃいで、普段の生活では見られない様子でした。とくに、森林浴などは普段の生活の中ではできないことです。環境を良くして、大勢の親子が来られるようにしたいです。

(神谷副会長) 北加瀬方面からの入口がわかりづらく、表側が夢見ヶ崎というイメージがあります。新川崎の向こう側から来るなら、北加瀬方面もいろいろな形で発展させることが良いと思います。最近はお年寄りばかりでなく若い人が車イスに乗って活動しますので、車でないと来れないのではなく、エレベーターなどがあれば来やすいと思いました。

(今井部会長) 幸区の地域コミュニティを作る起点、交流の場所としては、この加瀬山が良いのかなと、子どもたちのうれしそうな顔や、動物を見ていて思いました。より皆さんが集うには、環境整備が必要ですし、起点にするにはまだいろいろな課題があります。今日は時間の関係で動物園の視察だけで終わりましたが、登り口をもっと知りたいですし、所有も入り組んでいるようですし、どちら方面が来づらいのかななどを、起点にするためにはこれから検討していかなくてはいけないと思います。

(菅野委員) 市民館、教育委員会で、子どもたちが火を使ったり木登りをして良い公園を、以前は加瀬山で計画しました。今はさいわい夢ひろばでやっています。確かにここは狭いので、夢ひろばに作るしかないと感じました。一定の広さがないと、火を使うなどには狭すぎます。広いのは慰霊塔前の広場だけです。

(神谷副会長) 夢ひろばと夢見ヶ崎は、距離的には遠くないので、つながりができると思います。駐車場問題も、夢見ヶ崎だけで考えるのではなく、夢ひろば側にも考えられます。

(菅野委員) 駐車場は6、7年前にまちづくり推進委員会で検討しました。今ある駐車場の下を掘り下げて地下を駐車場にしろなどと提言しましたが、古墳で土器などが埋まっている可能性がありできないということでした。昨年の花見の時も、夢ひろばの方に駐車場をつくりました。富士見デッキも、地下に古いものがないかを調べて整備したため、500万円かかりました。加瀬山は土の中まで大切なので制限があり、簡単にはいきません。

(庄司委員) 今日たくさん人がいましたし、親子で近くで遊ぶライフスタイルの場として、これからますます必要になると思います。森林浴もこんな近くでできますし、動物もたくさんいて、良さを再確認しました。

(沼田委員) 区内の幼稚園かと思ったら、品川ナンバーのバスもありました。多摩川を渡ってくるんですね。

(今井部会長) せっかく場所があるので、交流の拠点になるようにしていけると良いです。

(佐藤委員) これだけのものがあるのに、まだ荒れています。太田道灌を宣伝しているのに、看板もありません。関心がないから荒れています。名所は名所として、きちんとすべきです。いろいろな団体が入っているようですが、団体だけでやっていて、総合的に連携してひとつの力としてやれば、素晴らしい公園になると思います。

(松脇委員) 行政の力だけでなしに、一部のボランティアが頑張っている花壇などを整備していますが、もっとやれることを網羅し、一般の区民を含めて土日に少しでも草を取るなどする。そうしないと、なかなか行政のお金を使ってやるのは難しい面があります。ボランティア

でできる範囲を見つけるのも大切です。

(今井部会長) ボランティアをしている方は結構いるらしいですが、何が欠けているかという
と、個々にやっているの、それを総合的に和を作り、コミュニティを作り、ひとつプロ
ジェクトのようなものが必要です。

(松脇委員) そうすると看板のアイデアが出るなど、質、量が上がります。

(神谷副部会長) 小沢さんという方がやっているということは素晴らしいですが、その人一人
に任せていいのでしょうか。

(佐藤委員) あそこではラジオ体操をしています。いろいろなことを言っても聞いてくれない、
どこに言ってもいいのかわからないと、そういう人たちは辞めてしまいます。その人たちを
機能的に連携させて、「加瀬山なんとか委員会」などを作るといいです。その時に中心にな
るのは役所です。公共施設なので、行政がお金を出す出さないは別にして、まとめ役をし
ないとバラバラになります。区民会議はそのためにあります。個々にやるなら各団体がや
ればいいわけです。総合的にやるのが区民会議の仕事です。アイデアをどんどん出しても
もらいやってもらう。環境整備をきちんとしなくてはならない時には、行政に言ってやって
もらう。声を上げるのがここです。

(今井部会長) 個人のボランティア精神や団体に頼っているのは良くないと思います。きちん
と協議会なりプロジェクトをつくり、区民で交流の拠点としてネットワークを作って行こ
う、コミュニティを作って行こうとしないと、だんだん荒れていきます。

(松脇委員) 個々にはそれぞれに思いがあり難しいです。行政が器をつくらないといけません。
それぞれに任せていては協議会はできません。場を作るのは行政でないと難しいです。

(今井部会長) 子どもたちも小さいときから夢見ヶ崎に来ているので愛着があります。高齢
者も愛着があります。交流の起点としては、大変良い場所であそこしかないと感じました。

(庄司委員) アクセスの問題、環境整備の問題などと魅力を、活動している団体をつなげるこ
とが大事だと思います。それではどうしたらいいかをここで考えるべきです。

(佐藤委員) 市は、町の公園には、愛護会や管理運営協議会を作れと言っています。夢見ヶ崎
公園はそれがどうなっているのか、誰が管理しているのか。愛護会としてお金を出して管
理してもらっているのか。市は町内会と一緒に組織を作れと行政指導をしています。
あそこはどうなっているのかがわかりません。

(松脇委員) 実態調査ですね。実態を知ればいいアイデアが出ます。

(今井部会長) 売店は母子寡婦がやっているなど、いろいろな組織がいろいろなところで関わ
っているの、その辺が良くわかりません。入口のところはどういう土地の所有なのかも
わかりません。

(沼田委員) 加瀬山の回りに町会があり、下の町会は自分たちで守り、小さい公園があればお
金をもらって管理します。加瀬山にはお寺と神社があり、その人たちと公園課でやってい
るのではないかと思います。ただし、盆踊りやお祭りは、そこを借りて賑やかにやってい
ます。たまにはボランティアで掃除に来る人もいますが、ほとんどはお寺、神社、動物園
で分かれて管理しているでしょう。

(佐藤委員) 神社や寺は自分の敷地しかやらないです。他はどこがやっているのですか。

(沼田委員) 了源寺は広く土地があり、階段があり、そこは整備をしています。他は知らない

とっています。

(神谷副会長) 山の斜面はどうなっていますか。

(菅野委員) 斜面も民間と公園の区分が難しいです。第三古墳の竹藪は民間です。今日も園長さんが、下の部分もうちの土地なので動物を置きたいが、えさを運ぶのが大変なので置いてないと言っていました。部分的には下まで市の土地もありますが入り組んでいます。第三古墳も西によると民間の土地になります。

(佐藤委員) 生田緑地はあれだけ広くても整備しています。夢見ヶ崎公園は狭いのに整備されていないのは、いかに力を入れていないかです。小さいところをきちんとやってもれれば、幸区にとって自慢できます。

(今井部会長) 私は昔のことを知らなかったので、どうして何十年放っておかれたのかが素朴に不思議でした。個々に活動をされていて、ネットワークがうまくできていなかったのですね。個々に個人や団体が一生懸命守ってきて、つながりなかったことが原因なんですね。

(佐藤委員) 個々ばらばらにやっていて、まとめようとしていないです。一生懸命やっている人がいるので、総合的にやれば、もっとやっている人も励みになります。

(菅野委員) 国宝も、個人が掘り出して慶応に売ったもので、行政はタッチしていません。

(今井部会長) まとめますと、地域コミュニティの推進ということで、町内会自治会の加入率を高めるにはどうしたらいいかを話あってきました。それについては、今後を見守りましょうということです。委員から、地域のつながりを深める側面支援が何かできないかということで、交流できる場所がないかということで、本日視察をしたという流れです。見えてきたことは、環境整備の問題。登り口はいくつものルートがあります。それと、個人のボランティアや小さい団体が活発に活動していますが、つながりなかったのではないかということです。それに対して、区民会議は今後、何をしていけばいいかをご意見ください。

(松脇委員) 思いつきですが、南側は斜面で動物が置けないなら、動物用の食べ物を栽培し、町内で管理して収穫すれば、農園と言えば小さな農園ですが、そういったことを通してコミュニティができるかも知れません。斜面の敷地にみんなで力を結集して物を作ることも一つあります。

(今井部会長) 私たちが活動の場に行っている河原町の幸市民協働プラザの人たちの声を聞くと、行けないという問題があります。バスが通っていない、斜面を登るのに足が悪く坂を登れないと言います。何かやるにも、行きたい、見たいという思いはあっても、ハードの部分を何とかしないと、交流も行ける人だけになります。

(佐藤委員) このことをテーマにこれから検討するなら、環境局を呼び管理の実態を聴く。どれだけ金を使って、どう管理しているのかといったことを、勉強した方がいいでしょう。

(沼田委員) 何かするにも、ここは俺のところだなどと言われるといけません。

(佐藤委員) 県の関係で傾斜地は税金が控除されます。その辺も含めて聞いてみたいです。

(神谷副会長) 見て、簡単にここがいいねというけれど、いろいろな状況がわかenらいと提案できないですね。

(沼田委員) 環境局もそうだが、公園課が来て、調べて、伐採をしてもいいとかやっています。

(庄司委員) 県の治水事務所が急傾斜地の管理をしており、県の立て札が立っています。市有

地、私有地の入り組み方、活動団体のこと、山の上ではイベントが開かれています何をしているのか、了源寺では御会式をしていますし、そういったことを含めて全体像を見たいです。

(今井部会長) 実態を知らないといけないので、とりあえず、まず、環境局にどうなっているのか説明に来ていただくのはどうでしょう。

(佐藤委員) 環境局か公園事務所か緑政課か。専門家がいるでしょうから、詳しい人に来てもらいましょう。

(今井部会長) そういうことがいろいろ分かった上で、活動団体をどうつなげていくか、どうやってコミュニティを作っていくかですね。

(佐藤委員) 団体は勝手にやるわけではないので、登録してあるでしょう。

(今井部会長) ラジオ体操も先日取材に行きましたが、誰がやっているわけではなく、朝の 5 時半くらいから、いろいろな登り口から人が上がってきます。ある人がラジカセを持って 6 時半にラジオをかけると、みんなで体操します。ラジオ体操が終わると、盆踊りやフォークダンスをかけます。自然発生的に集まり、90 人くらいが体操をしています。365 日来る方もいます。雨の日は、展望デッキの下でやるそうです。25 年位前から散歩をしていて、10 年ほど前から今の形になったそうです。最初にラジカセを持ってきた人が中心といえば中心ですが、別に何をしようではないそうです。健康のために集っているのは大変良いと思いました。高齢の方から小さい子どもまであそこに集っているので、つなげてあげられることをしたいですね。

今後は、実態調査、実際の管理の面や活動団体をまず把握しましょうということですね。勉強の意味で関係局に来てもらい、勉強をしたらどうかということですね。方向はそんな形で大丈夫ですか。

2 区民会議に向けた「子育て・環境・魅力づくり部会のまとめ」について

(今井部会長) 区民会議に向けては、先ほどからの流れを説明し、こういうことを検討してきました、冊子やホームページは今後見守っていきます。その間、側面支援として地域のつながりを深める交流の場所はどこがいいかということで、夢見ヶ崎を視察しました。その結果、もう少し実態を知る必要があるので、関係局に話を聞いたり、活動をしている団体、個人の方を含めて把握していきましょうということですね。

あそこはすごい地域資源ですね。来れば来るほど発見があります。最近知りたい思いがあり来るようにしていますが、来るたびに発見があります。知らなかったことが多いです。

(事務局) 5 月 29 日(金)に全体会がありますので、発表していただく方を決めていただきたいです。また、もう一回部会を開き発表事項についてまとめるのが一番いいのですが、全体会までに時間がありませんので、発表者の方とペーパーや発表する内容は調整させていただくということでもよろしいですか。まとめたものは事前に送らせていただきます。

発表内容については、通例ですが、資料 2 にありますとおり、「1 部会検討の経過」について、4 月と 5 月の内容、「2 中間報告での提言とその対応状況」について、町内会自治会の魅力を伝えること、「3 部会まとめ」について、今後も夢見ヶ崎動物公園について、地域での触れ合い、交流の場として大切なところなので、実態を調べたり、今後ど

うしたら良いかを検討するために引き続き勉強していくということで、書かせていただくこととなります。この3つのまとめについて発言いただく方を決めていただきます。

(今井部会長) それでは、今までやられていない方をお願いします。菅野委員が「1 部会検討の経過」、酒井委員が「2 中間報告での提言とその対応状況」、深瀬委員が「3 部会まとめ」をお願いします。

3 その他

(今井部会長) 次の部会があるんですね。

(事務局) 環境局の担当課は、基本的には夢見ヶ崎動物公園です。公園事務所は夢見ヶ崎動物公園をはずした幸区、中原区を担当しています。管理事務所がエリアを管理しています。周辺については、夢見ヶ崎動物公園に確認してみます。日程は調整させていただきます。前回の部会の際に質問のあった事項について報告します。

①区民会議の認知状況

事務局が、資料3「平成20年度かわさき市民アンケート 報告書」に基づき、説明をしました。

(神谷委員) 高津区の「知っている」がダントツですね。

(事務局) 各区の回収数のパイが少ないので、信憑性の問題からどの程度参考になるかはわかりません。全体的に見ると、かなり認知状況は低いです。幸区の区民アンケートの結果では、幸区はかなり高くなっており、この数値と開きがあります。

(今井部会長) 区民会議が発足して年数がたっていないこともあるでしょうが、「また何かの会議でしょう」くらいに思われているのではないかと思います。せっかく市が作った区民会議で、自治基本条例に基づいてやっている会議ですので、地域の課題を解決する方向で活動していきたいと思います。

(松脇委員) 区民会議の認知度が低いです。とくに若い人に低いので、どう上げるかは、委員が努力しても難しいので、やはり川崎市全体の問題として、調べただけではなしにどんな方向でやるのかを報告していただきたいです。

(神谷副部会長) いろいろなことをやった活動を、みんなに大きくアピールしていかないといけません。

(今井部会長) 区民会議は調査審議で実行部隊にはなれないので何ができるかはありますが、そういう場を作るようにネットワーク、つながりのお手伝いをするような形ですね。

(神谷副部会長) ボランティアをしている人たち、個々の人たちをまとめることを、行政にお願いするところまではできますね。

(佐藤委員) 区民会議ができてまだ4年ですから、市民全体が良くわかったというのは難しい話です。実行部隊ならすぐに結果がでますが、提言する内容の成果がでて、初めてなるほどとなります。その過程ですから、あわててみんなに知ってもらうのではなく、関心を持つことをいかにスピーディーに結論を出して、実行に移させるかです。良いことを言ってくれているけれど、実際に実施しているのか、ではダメですね。

(菅野委員) 行政が僕たちの答申を見て、これは参考になったというものを作れるかどうかです。行政が何かをするときに、参考になったという答申ができれば、それは成果だと思い

ます。そのための努力をしないといけません。

(神谷副部会長) 先日、市議会だよりを見ていたら、市議員が言ったことが参考意見として載っていましたが、その中にも区民会議のことが出ていました。やはり同じ関心のことがあるのだと思うので、いろいろなところで言っていく必要があります。そうすると、また向こうもそれを参考に、膨らませて発言して、動いていきます。

(庄司委員) 今回、加瀬山をテーマにあげることによって、皆さんの日常に触れる場面で PR することができると思います。私たちもどうやって PR できるか、見せられるかを検討したいです。日吉の「わッ」では、今年もエコツアーとして、子どもに遊んでもらう、知ってもらい催しを 10 月頃に加瀬山でやります。また、この日吉地区のかるたをつくり、遊びながら良いところを知ってもらいことをやろうと思います。募集などについて、ご協力願えればと思います。

(神谷副部会長) 子ども会も、幸区全体で夢見ヶ崎を使って写生大会をやりつつ、もっと向こう側にも知ってもらおうということをします。区長さんといろいろ連携してやっていけなにかということをお話しています。

(今井部会長) 今、お話を聞いていても、これはまた別個の団体ですね。以前子育てのことを話し合った時に、読み聞かせなど子育てのことをいろいろなところでやっているの、その情報をひとつのものにできないかということで、「おこさまっぴさいわい」ができました。民間でやっているものと区役所でやっているものが一つに載っています。そういったもので、加瀬山周辺の情報を一個にまとめてもらった方が助かります。

(庄司委員) 夢見ヶ崎ニュースを職員が出しています。

(今井部会長) 個々にはチラシを作ったりイベントをしていますが、それがなかなか見えて来ません。それをまとめて情報発信していく。子育て支援ネットワークのように、何とかネットワーク会議のようなものがないでしょうか。

(佐藤委員) ソフトとハードを分けて進めるといいのではないですか。

(庄司委員) 現状を把握しないといけないです。

(佐藤委員) 区民会議というと、町内会連中もこれまでは冷たかったです。昔、国が決めた広報委員会というものがあり、いろいろ言って市長に答申をしても何の意味もなさなかったです。区民会議ができたときも、意味がないと言いましたが、マンションの入会運動などは大変なことで、それを区民会議がやってくれたということで、町会も変わってきました。実践活動をすることです。8 月までに入会しているかしていないか楽しみです。

②審議会について

事務局が、資料 4「審議会について」に基づき、説明をしました。

(菅野委員) これで結構です。

③日吉まつりポスター

(深瀬委員) 日吉まつりのポスターです。たくさんありますので、皆さんで持ち帰ってください。よろしくお願いします。

□閉会